

NTT データグループ様ご協力による AI タスク全面改訂について

一般社団法人 iCD 協会（東京都千代田区、理事長：木田 徳彦）は、株式会社 NTT データグループ（東京都江東区、代表取締役社長：中山 和彦 以下 NTT データグループ）の協力のもと、株式会社 NTT データユニバーシティ（東京都目黒区、代表取締役社長：掛谷 一夫 以下 NTT データユニバーシティ）と共同で、i コンピテンシディクショナリ（以下 iCD）のタスクディクショナリにおける AI 関連タスクにつき、全面的な改訂を行いました。

1. 概要

弊協会では、予てから iCD のタスク拡充に積極的に取り組み、独立行政法人情報処理推進機構が 2014 年 7 月 31 日の初版をリリースしたときのタスク数に比して約 5 倍の規模に達しております。

拡充したタスクも含め、多くの企業様に iCD をご活用いただいておりますが、急速な発展を遂げている AI、とりわけ生成 AI の活用を前提とした全体の見直しが急務となっております。

一方、NTT データグループ様におかれましては、自社における AI 人財の育成・確保に継続的に取り組み、実践的な生成 AI 人財を育成するためのフレームワークや知見を確立されております。また、2026 年 1 月に開催された World Economic Forum Annual Meeting (Davos2026) においては、これらの知見を企業・政府・教育機関などへ広く展開し、AI 人財育成の発展に貢献していく方針を発信されております。

ご参考 URL：

- ① [グローバル約 20 万の社員を対象とした生成 AI の人財育成フレームワークを整備](#)
- ② [Creating Opportunities For All In The Intelligent Age | World Economic Forum](#)

幸いにも、この社会還元の取組の一環として iCD をご活用いただく運びとなり、今般、NTT データグループ様および NTT データユニバーシティ様にご参画いただき、弊協会のプロジェクトとして、NTT データグループ様が培われた生成 AI 人財育成フレームワークおよび実務を通じて蓄積された知見を AI タスクへ反映する改訂を実施させていただきました。改訂の内容は以下のとおりです。

- i. AI04「生成 AI」*の大幅拡充
- ii. その他のエンジニア系等従来のタスクにつき、AI 活用の観点でのタスク追加
- iii. 従来のタスクも含めてすべてのタスクを対象として、AI の活用レベルと iCD タスク対応表を作成

* AI04「生成 AI」タスク群は、AXR 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：前田一成、旧：DXHR 株式会社）さまのご協力にて 2023 年 12 月に策定・公表しております。

ご参考 URL：[NEWS iCDA GenerativeAI 20231211](#)

2. 成果物（一部抜粋）

CODE	タスク大分類	CODE	タスク中分類	CODE	タスク小分類	基礎	初級	中級			
								プロジェクト	セールス	エンジニア	利用者
PL02	システム企画立案	PL02.1	システム化構想の立案	PL02.1.1	システム化構想基本方針の策定			○			
				PL02.1.2	現行業務、システムの調査分析					○	
				PL02.1.3	新業務の全体像把握と評価指標の設定					○	○
				PL02.1.4	投資規模の確定						
				PL02.1.5	システム化構想の成案化						
				PL02.1.6	システム化構想の支援						
		PL02.2	システム化計画の策定	PL02.2.1	システム化計画におけるプロジェクト計画の策定					○	
				PL02.2.2	システム計画の基本要件の確認					○	
				PL02.2.3	対象業務の課題整理	○	○		○	○	○
				PL02.2.4	現状システムの分析と対応方針の策定						
				PL02.2.5	業務モデルの作成			○		○	○
				PL02.2.6	システム化機能の整理とシステム方式の検討	○	○			○	
				PL02.2.7	付帯機能、付帯設備に対する基本方針の明確化						
				PL02.2.8	サービスレベルと品質に対する基本方針の明確化						○
				PL02.2.9	プロジェクトの目標設定						○
				PL02.2.10	実現可能性の検討			○		○	○
				PL02.2.11	全体開発スケジュールの作成		○				
				PL02.2.12	システム選定方針の策定						
				PL02.2.13	費用とシステム投資効果の予測			○		○	○
				PL02.2.14	システム化計画の成案化						
				PL02.2.15	AI活用>生成AI関連情報の収集・通知要件の定義						○
				PL02.2.16	AI活用>生成AIデモ・ユースケースの洗い出し						○
				PL02.2.17	AI活用>生成AI適用デモ・ユースケース選定					○	
				PL02.2.18	AI活用>モデル方式設計・比較評価					○	
				PL02.2.19	AI活用>商用適用に向けた実現性評価					○	

※黒字は従来タスク、青字は今回追加タスク

なお、小分類レベルでの追加タスク数は以下の通り

CODE	大分類	追加 小分類数
BA01	経営戦略	2
ST01	事業戦略策定	4
ST02	事業戦略把握・策定支援	4
EA01	エンタープライズアーキテクチャー	2
ST03	IT 製品・サービス戦略策定	2
AI03	AI>PoC の実施	2
AI04	AI>生成 AI の利活用	30
PL02	システム企画立案	22
DV01	システム要件定義・方式設計	56
DV02	運用設計	6
DV05	アプリケーションシステム開発	31
DV06	ソフトウェア製品開発	31
DV07	組込みソフトウェア開発	30
DV08	Web サイト開発	30
DV15	プロジェクトマネジメント	10
BZ04	営業>SI	3
CO03	広告・広報	1
合計		266

3. 策定メンバー

この成果物は、下記メンバーにて各社それぞれの特長を活かした共同研究により策定されました。

- 荒川 和教 (あらかわ かずのり) **【主査】**
株式会社 NTT データグループ
人事本部 HR Management 統括部 Talent Development 担当 課長
- 武田 健太郎 (たけだ けんたろう)
株式会社 NTT データグループ
グループ経営企画統括本部グローバルイノベーション本部 Global AI Office 部長
- 鍋島 七月 (なべしま なづき)
株式会社 NTT データユニバーシティ 取締役 事業統括担当
- 遠藤 修 (えんどう おさむ)
iCD 協会 専務理事 事務局長

(敬称略、肩書は開発当時)

4. ご提供にあたって

弊協会活動の成果のひとつであるこのフレームワークのライセンスは、弊協会が保有しています。すなわちその提供は、原則として弊協会の会員が対象となります。

■一般社団法人 iCD 協会

本社所在地：〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-2-22 ハヤカワ多町ビル 5F

理事長：木田 徳彦

設立：2018 年 2 月

事業概要：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公開した「iCD (i コンピテンシ ディクショナリ)」に関する調査及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等

URL : <https://www.icda.or.jp/>

当リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 iCD 協会

担当：広報担当

Mail : icda-info@icda.or.jp

Tel : 03-4530-6226